

教科シラバス(2年地歴科)

教科名	地歴	科目名	世界史 A	学年	2年(理系習熟)	単位数	2
教科書と副教材			現代の世界史、世界史のミュージアム				
1. 科目目標	近世以前の諸地域世界の特質をつかんだ上で、大航海時代を背景にアジア世界とヨーロッパ世界が接触や交流・進出を深め世界が一体化に向かい始める状況を概略的に把握させる。また、近現代史以降一体化がさらに進んでゆく状況を、わが国と関連付けながら歴史的に理解させ、あわせて人類の今後の課題について具体的に考察させる。						
2. 学習方法	<p>(1) 授業の持ち物について:教科書、資料集、ノート(科目毎に替えてください)</p> <p>(2) 予習の仕方について:前もって、次回授業の教科書 2 頁程度を読んでおきましょう。</p> <p>(3) 授業の受け方について <授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。> ア 先生の説明をよく聞いて、最低限、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。 イ ノートは板書事項を写すだけでなく、自分が大切だと思ったことは書き加えると良いでしょう。 ウ 学習内容について、常に「なぜ・どうして」といった疑問をもって考える姿勢で受けましょう。</p> <p>(4) 家庭学習の仕方について <家庭では、まわりの多くのことに目を向けましょう。> ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみましよう。あわせて、ノートを見直すことが大切です。 イ 授業中に疑問に思ったことなどは、自分なりに調べてみましよう。その際、インターネットなどを利用することは効果的です。 ウ 新聞・雑誌・TVのニュース等に関心を持ちましよう。その際、過去の出来事(歴史)との因果関係を調べると現代の出来事がよく理解できます。 エ 読書をしましよう。いろんなジャンルの本を読むことで新たな興味・関心が出てくるかもしれません。 オ 世界史を扱った映画を積極的に活用しましよう。時代背景がよく理解できます。</p> <p>(5) 質問の仕方について 分からないことは遠慮なく担当の先生に尋ねましよう。授業時間内の質問でも、放課後等でも質問することは可能です。</p>						
3. 学習評価	学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって総合的に行います。						
4. 学習サポート	<p>(1) 定期的に行われる小テストはとても大切です。その成績自体も評価の対象となりますし、定期考査に向けた学習にもなります。満点目指して取り組みましよう。</p> <p>(2) 世界史Aは近現代史についての学習が中心となり、現代の出来事との関わりがかなり深いことが考えられます。その点において、毎日の新聞やテレビなどのニュースに関心を持つことは、授業内容をより深く理解するためにとっても大切です。</p> <p>(3) 定期考査・小テストの内容は、教科書・資料集・授業ノートの中から出されることがほとんどです。毎日の授業が一番大切です。</p>						

